



ITOGUMI CONSTRUCTION

RECRUIT GUIDE

ITOGUMI

伊藤組土建株式会社



CREATING THE FUTURE HISTORY

その仕事は、やがて歴史となる。

1893年に北海道で産声をあげ、以来130余年。伊藤組土建はこの北の大地で、数多くの仕事を成し遂げてきました。暮らしに欠かせない公共施設や商業施設、生活の基盤となる道路やトンネルなどの建造物。私たちがつくり上げてきたものはすべて、北海道に生きる人々の躍動の舞台となり、歴史の礎となって、地域の発展を支え続けています。

社会のかたちや人々の価値観が変容する中、建設に求められることも変化してきています。私たちは新時代のニーズにもさまざまな挑戦で応え、進化を図っています。一方で、創業以来の「責任観念」「誠心誠意」のこころは、当社の根底に流れ続けています。建設の仕事を通して、人々と社会に貢献する。伊藤組土建は、これからも後世に残る建造物を生み出し、伝統と革新の両輪で進み続けます。


北海道庁 旧本庁舎・本庁舎

その道は、未来へ続いている。


モエレ沼公園 ガラスのピラミッド


ウポポイ 体験交流ホール

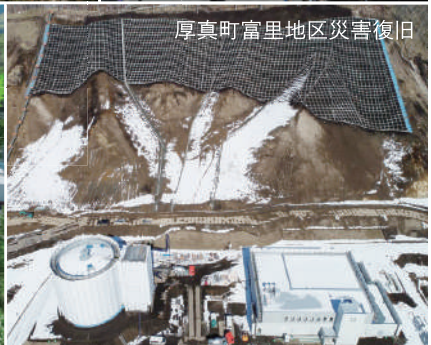

宮の森ジャンプ競技場


道央道千歳インターチェンジ


厚別公園競技場


ラ・トゥール札幌伊藤ガーデン


円山動物園
オランウータンとボルネオの森


厚真町富里地区災害復旧

道がつながる。人が交わる。

建物が生まれる。営みが根を下ろす。

工事の終わりは、未来の始まり。

伊藤組土建が手がけてきた建造物の数々が、

北海道の「いま」を支えています。

- 1893 年 – 伊藤亀太郎、札幌に土木建築請負業創業
- 1908 年 – 札幌駅舎竣工
- 1946 年 – 伊藤組土建株式会社設立
- 1968 年 – 北海道庁本庁舎竣工
- 1971 年 – 道央道千歳インターチェンジ竣工
- 1986 年 – 厚別公園競技場竣工
- 1990 年 – 宮の森ジャンプ競技場竣工
- 2003 年 – モエレ沼公園ガラスのピラミッド竣工
- 2011 年 – 札幌駅前通地下歩行空間竣工
- 2019 年 – ウポポイ（民族共生象徴空間）体験交流ホール竣工
- 2020 年 – 厚真町富里地区災害復旧
- 2023 年 – 伊藤組土建創業130周年



建築

ARCHITECTURE

当社は北海道の建築分野のパイオニアとして、北海道の地域特性を知り尽くしている強みを活かし、数多くのプロジェクトを手掛けてきました。豊富な実績とそれにより培ってきたノウハウで、街のランドマークとなる建物をはじめ、高層建築物や公共施設、医療施設やオフィスビルなど多様な建築物を施工。また設計から調査・診断、既存建物のリニューアルまで、お客様のさまざまなニーズにお応えしています。

近年では、ZEBをはじめとする再生可能エネルギー技術の導入や、持続可能な社会づくりのための都市再開発事業にも携わっています。時代の動きにいち早く対応し、先端技術も積極的に活用。これからも高品質なものづくりでより良い社会の構築に貢献していきます。

ADVANTAGE





建築設計

当社の建築部門には主に施工管理を行う建築部のほか、意匠設計・構造設計を行う設計部があります。施主へのプレゼンから始まり、設計に関する計画全体をまとめあげ、現場と連携して設計図のとおり施工が進んでいるかを確認しながら竣工まで深く関われるのは、「ゼネコンの設計部」ならではです。



学生時代はアメフト部。
「ワンチーム」の経験が今に活きる。

[主に手がける仕事の分野]

- 商業施設
- 教育施設
- 産業施設
- 交通施設
- 居住施設
- 福祉施設

[2019年入社]

安田 崚平

現在、小学校の校舎改築工事において、工事が予定通り進むように人員や資材、工程等の全てを統括する「施工管理」の業務を行っています。多くの人とチームとなり働くので、良い雰囲気づくりは常に心がけています。当社は長い歴史をもつ会社のため堅苦しいイメージをもたれるかもしれませんが、若手からも会社に意見が言えるなど風通しがよくて、とても居心地がよく働きやすいです。入社して5年がたち、できることも増えてきました。いずれは所長として、皆を率いるのが夢。まずは後輩にとって頼れる先輩になれるよう、日々の経験を確実に力にしていきたいと思っています。



工期は数年単位になることも。集中して現場に臨む。



工程管理と、施工図面や施工計画書作成が現在の主業務。



工事を円滑に進めるカギは、周囲への気配り。



CIVIL ENGINEERING 土木

当社は「自然と向き合い、人と環境の調和を目指した基盤整備」を掲げ、北海道特有の地理や気象条件、社会状況などを鑑みながら、プロジェクトを推進してきました。近年では多発する自然災害から人々の命と暮らしを守るための防災・減災に関する工事や、被災地域の復旧・復興工事も、当社の技術やノウハウを活かして多数施工しています。

都市再開発関連の地下通路といった都市土木にも対応し、建設ＤＸの推進によって効率化を図りながら、安全性・信頼性に優れた社会資本整備に努めています。私たちはこれからも北海道のリーディングカンパニーとして地域社会の発展に貢献していきます。

ADVANTAGE





土木技術

当社では土木施工にMR（複合現実）や画像認識AIなどの新技術を導入・活用する研究や、設計・施工一括方式にも対応できる土木設計などを行う部署を独自に擁しており、建設DXを推進して現場の課題解決や生産性向上に取り組んでいます。



「成長したい」の思いに応えてくれる環境です。



現場では積極的に
周りとコミュニケーションを図る。

[主に手がける仕事の分野]

- トンネル
- 橋　梁
- 道　路
- 河　川
- 上下水道
- 土地造成

[2023年入社]

森田 幸矢

小さな頃から、現場でものがつくられていく様を体感したいという思いがあり、地元・北海道で働く希望も強かったことから伊藤組土建を志望しました。まだ2年目なので、今は先輩方の指導のもと業務にあたっています。年の近い先輩が多く、またこまめに気にかけてくれるので、相談や質問がしやすく、学びの多い環境です。これまでに河川と道路工事に携わりましたが、土木工事にはトンネルや橋梁、都市施設など多様な工事があります。多くの現場を経験し、一日でも早く、先輩方をサポートできる存在へと成長していくことが今の目標です。



多様な現場を経験できるのが伊藤組土建の魅力。



若い世代の社員も多く、互いに高め合える関係。



タブレットを活用して施工状況の記録、測量などを行う。

総合職

営業 PLANNING



挑戦を後押ししてくれる
懐の深い会社です。



規模の大きな案件にはチームで取り組む。



契約書類の作成が主業務。「わかりやすさ」を常に意識。



風通しがよく、和気あいあいとした職場。

[2020年入社]

福本 今日子

営業部で書類作成などの内勤業務を担当しています。入社2年目で経理から異動し、建設業界の新たな知識を得ることができて、新鮮な毎日です。職場の雰囲気はとても良く、若手も意見を出しやすい空気があります。視察イベントを企画し提案したところ、前例がないにも関わらず採用されたことも。歴史ある会社ですが柔軟性もあるところが、当社の良さだと感じています。

[主な仕事内容]

- 官公庁提出書類作成
- 見積書作成
- 契約書類作成
- 経営事項審査
- 工事情報収集
- 依頼事項対応

事務 OFFICE WORK




自分から考えて動くことが何よりも重要。


困りごとには課内で情報交換するなど力を合わせて対応。


工事事務所の開設から現場の相談事まで幅広くサポート。

[2023年入社]

髙橋 歩武

私が所属する財務経理部事務課は、各工事の経理業務や事務サポートを行う部署です。基本は内勤ですが、常に工事の状況把握を行っているので現場との距離は近く、竣工時は喜びもひとしおです。適切なサポートができるよう、現場事務所に出向いて所長と話すことも度々あります。多くの知識を身につけ、頼りがいのある存在になることが今の目標です。

[主な仕事内容]

- 工事請求処理
- 工事決算対応
- 労務費管理
- JV構成会社協議
- 事務所立上げ
- 作業所サポート

人・まち・環境が調和した未来が、私たちの願い。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界はいま、気候変動や資源・エネルギー問題、健康や経済への不安など、さまざまな社会問題に直面しています。世界の国と地域が持続可能な社会を目指してアクションを起こすなか、私たち伊藤組土建も未来を見据え、明確なビジョンを持って取り組みを進めています。

伊藤組土建SGDs 4つの重要課題（マテリアリティ）

- 環境を守り、育む。
- 多様性を受け入れる職場を目指す。
- 建設業を通して社会に貢献する。
- 信頼される組織づくり。

それぞれの課題に主要活動と2030年目標を定め、
達成に向けて取り組んでいます。



取り組み事例 脱炭素社会の実現

森林保全活動による累計植樹本数（2024年4月現在）
約15,000本（2006年～伊藤組グループ累計）

福利厚生

健康経営優良法人（大規模法人部門）に認定（2020年から継続中）

休暇制度の充実

育児休業、介護休業制度
慶弔等特別休暇
半日単位・時間単位の有給休暇
年次有給休暇の計画付与制度
私傷病に対する有給の欠勤許容期間

残業削減

ノー残業デーの推進
作業所の4週8閉所・土曜閉所を推進

資格取得の助成

資格手当を毎月支給
資格取得時の一時金（報奨金）制度
資格取得費用の助成制度

若手社員の福利厚生

奨学金返還助成制度
提携施設利用時の住宅費用補助

教育研修

新入社員研修
メンタルヘルス・ハラスメント研修
現業部門冬期研修（技術、安全、法規等の専門知識）
外部講習、見学会等への参加



有資格者

従業員数 428人
2024年9月 現在
（役員除く、臨時・パート含む）

1級土木施工管理技士	100人	技術士（建設部門）	14人
1級建築施工管理技士	103人	宅地建物取引士	15人
一級建築士	51人	建設業経理士（1級・2級）	39人

ITOGUMI CONSTRUCTION

ゼロカーボン実現に向けて

北海道の建設業で初めて SBT認定を取得

SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

気温上昇を1.5℃未満に抑えることを目指す国際的イニシアチブ「SBTイニシアチブ」に、当社が掲げる2030年度に向けた温室効果ガス排出削減の目標設定が認められ、2023年に北海道の建設業で初めてSBT認定を取得しました。今後は当該目標を達成すべく取り組みをさらに強化、実行していくことで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

豊かなまちづくりのために

地域に貢献する社会活動





道路や河川の清掃美化活動、地域活動への参加や支援、地域住民や児童を対象とした見学会など、より良い未来の実現のため、地域コミュニティと連携して私たちにできることを積極的に行っています。

社是

責任観念

それぞれの職務には責任が伴い、
しかもその責任は極めて大である。
職務の遂行には、関係部署との連絡を
密にすることはもとより、
他人に頼らず、勇気と創造性をもって積極的に取り組み
全力を挙げなければならない。

誠心誠意

すべて正直を柱とし、自分に厳しく、誇張、虚言を戒め、
公正に行うことが職務遂行の根本である。
常に研さんを積み、教養を高め、
豊かな心で相互の信頼を深め
いかなる事態にあってもまごころを以て
最善の努力をしなければならない。



明治26年に伊藤組土建が創業してから、時代は移り、令和の現在、新しい日常を送る人々の価値観は大きく変わりました。時代に即した改革は企業にとって重要課題であり、古い慣習に捉われず、若い社員が何事にも積極的にチャレンジできる環境を整えていくことが大切だと考えます。
その一方で、創業以来の社是である「責任観念」「誠心誠意」の精神は、これからも引き継がねばならない大切な道標です。高い技術力で業務を遂行し、自分たちの仕事にはしっかりと責任をもって、地域社会の持続的な発展に尽くしていく。こうした当たり前の実直さが、伊藤組土建の130年の歩みを支えてきたのです。
技術を研さんし、誠実に仕事に向き合い、失敗しても怯まずに次に向かっていける、そんな皆さんと一緒に新しい時代へと歩みを進めていきたいと思います。

代表取締役社長　大谷　正則



ITOGUMI



伊藤組土建株式会社
www.itogumi.co.jp

本社 札幌市中央区北4条西4丁目1番地
TEL:011-211-4643(人事部直通)